

阿品土谷病院看護師だより その2

4月から阿品土谷病院で勤務をさせて頂いています。これまでの経歴として、外科、病棟、透析外来、内科小児科で経験を積んできました。中でも透析外来での経験は短かったので、透析病棟で透析患者さんへの看護を学びたいと思いました。

阿品土谷病院で多くの患者さんと関わりながら入院生活を安全・安楽に過ごせるよう、看護していきたいです。



私は40歳で看護師を取得した2年目の者です。前職はCADで図面作成など、看護職とは無関係の仕事に従事していました。国家試験に合格したものの、本当に看護ができるのか不安の日々でした。勤務中、自分の看護がこれで良いのかなど、悩み、落ち込む時もありますが、周囲のスタッフの温かい協力のもと日々看護に励んでいます。



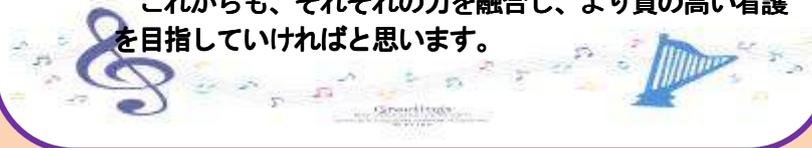
当院は、新人教育が充実しているので、私の年齢でも安心して働ける職場であり、前向きに頑張っている毎日です。



阿品土谷病院設立20数年の中で、私自身微力ながら勤務してきて、気がつけば定年を迎える時期になっていました。

高齢患者様の多い中、看護師介護者それぞれが患者様の声に耳を傾けながら、何が出来るかを考え、日常業務にあたっている姿勢が、私自信をここまで導いてきてくれたのだと思います。

これからも、それぞれの力を融合し、より質の高い看護を目指していければと思います。



看護職を〇年続け、体力の低下が著しく、夜勤業務の後は寝たきり老人に化してしまい、限界を感じていた頃に転居に伴う新天地への転職を致しました。

初めの頃は、前職で身につけていた感覚を変える事に戸惑い、落ち込む事ばかりでした。入職時から、職員の方々の優しい声かけや気遣いに救われ、5ヶ月経った今は、高齢者の患者様の療養ケアを、毎日の日常生活の中で関わり、アットホーム的な職場環境に心穏やかに勤務させて頂いています。



現在私は、阿品土谷病院に再就職して1年5ヶ月が過ぎようとしています。思えば6年前…正看護師の資格を取得するため、通信制の学校に入学しました。

当時、私自身結婚して子供がいるなか、家事、仕事、勉強との両立は思っていた以上に大変で、何度もくじけそうになりました。そんな自分を師長をはじめ周りのスタッフの方々から温かい言葉をもらったり、時には励まして下さったりして頂き、何とか両立する事ができていました。



しかし、入学して2年目、体力の限界やもっと勉強に集中したいという思いが強くなり退職…。その後は国試まで睡眠時間を惜しみつつ猛勉強し、無事に合格をする事ができました。資格取得後は他院にてパート勤務をしていましたが、正看護師としてもっと看護を学びたいと思い、当院へ再就職を決意。

現在は、リーダー業務、委員会活動、指導係など多忙の毎日ですが、休日も多く充実した日々を送っています。



阿品土谷病院は、20代から定年まで年齢も看護経験も様々ですが、人を大切に作る温かい職場です。スタッフ皆が協力し頑張っています。

～看護部長～

当院のスタッフは年齢層が幅広いですが、働きやすい職場をモットーに、明るく元気に声かけ合いながら、日々の看護に従事しています。

～看護師一同～

